

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-171966

(P2007-171966A)

(43) 公開日 平成19年7月5日(2007.7.5)

(51) Int. Cl.		F I				テーマコード (参考)
G09F	9/00	(2006.01)	G09F	9/00	312	2H088
G02F	1/13	(2006.01)	G02F	1/13	505	5G435

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2006-343400 (P2006-343400)	(71) 出願人	505227076 群康科技 (深▲セン▼) 有限公司 中華人民共和國広東省深▲セン▼市寶安區 龍華鎮富士康科技工業園イー区の4棟の1階
(22) 出願日	平成18年12月20日 (2006.12.20)	(71) 出願人	504244298 群創光電股▲ふん▼有限公司 台灣苗栗縣竹南鎮新竹科學園區科學路160号
(31) 優先権主張番号	094146361	(74) 代理人	100064908 弁理士 志賀 正武
(32) 優先日	平成17年12月23日 (2005.12.23)	(74) 代理人	100089037 弁理士 渡邊 隆
(33) 優先権主張国	台湾 (TW)	(74) 代理人	100108453 弁理士 村山 靖彦

最終頁に続く

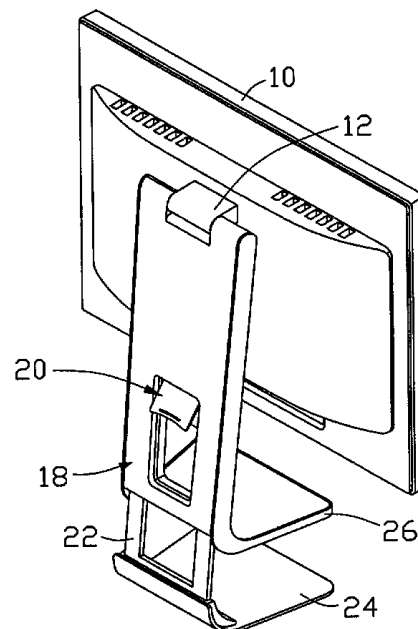
(54) 【発明の名称】 液晶表示装置

(57) 【要約】

【課題】本発明はユーザの異なる需要によって、主体部の高度を調節することができる液晶表示装置を提供することを目的とする。

【解決手段】主体部と、台座とを有し、前記台座は互いに接続される頸部と第1ベースとを備える液晶表示装置であって、前記液晶表示装置はスライディング・カバーをさらに備え、該スライディング・カバーは、一端が前記主体部に回転接続されており、且つ、第1位置から第2位置の間で滑るように前記台座の頸部に固定される。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主体部と、台座とを有し、前記台座は互いに接続される頸部と第 1 ベースとを備える液晶表示装置であって、

前記液晶表示装置はスライディング・カバーをさらに備え、該スライディング・カバーは、該スライディング・カバーの一端が前記主体部に回転接続されており、且つ、第 1 位置から第 2 位置の間で滑るように前記台座の頸部に固定されることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

前記スライディング・カバーは前記第 1 ベースと対応する第 2 ベースを有することを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。 10

【請求項 3】

前記スライディング・カバーは前記スライディング・カバーを前記頸部の異なる位置に固定するためのファスナーを有することを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記頸部は二つの支持アームを有し、該二つの支持アームの間はバーによって接続されることを特徴とする請求項 3 に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記スライディング・カバーは一つの透かし部と、複数のロック孔とを備えることを特徴とする請求項 4 に記載の液晶表示装置。 20

【請求項 6】

前記ファスナーはバッフルと、回転軸とを備えることを特徴とする請求項 5 に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

前記スライディング・カバーは、前記ロック孔によって固定する上方スライディング・カバーと、下方スライディング・カバーとを有し、前記バッフルと回転軸は上方スライディング・カバーと下方スライディング・カバーとの間に設けられることを特徴とする請求項 6 に記載の液晶表示装置。

【請求項 8】

前記ファスナーは、回転軸に設けられた押さえボードを更に備えることを特徴とする請求項 6 に記載の液晶表示装置。 30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、液晶表示装置に係り、特に、高度を調整することができる液晶表示装置に関するものである。

【背景技術】

【0002】

液晶表示装置は、軽量、薄型、低電力消費の機能を持ち、現状の CRT 表示装置の代替、又は、パーソナル・コンピュータ、ワードプロセッサ、テレビ表示用等の各種表示装置として利用されて注目を浴びている。 40

【0003】

現在の液晶表示装置は、使い勝手の良さを与えるために、スタンド部と主体部とを接続する部分に設置されたヒンジによって、液晶表示装置の主体部を回転し、前記液晶表示装置の主体部とスタンド部との傾く角度を調節することができる。

【0004】

図 1 は、従来の一種の液晶表示装置の構成を示す図である。液晶表示装置 1 は、台座 2 と、頸部 4 と、ヒンジ 6 と、主体部 8 とを備える。前記頸部 4 は台座 2 に設置される。前記ヒンジ 6 は頸部 4 に設置される。主体部 8 はヒンジ 6 によって頸部 4 に接続される。前記主体部 8 はヒンジ 6 によって台座 2 に対して回転することができ、従って、主体部 8 と 50

台座 2 との傾く角度を調節することができる。

【0005】

しかし、従来の液晶表示装置は、主体部 8 と台座 2 との傾く角度だけを調節することができ、ユーザの需要によって、主体部 8 の高度を調節できなく、異なる需要があるユーザに、使い勝手の良さを与えることができないという問題があった。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

本発明の目的は、前記のこうした課題を解決し、高度を調節することができる液晶表示装置を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記目的を達成するため、本発明に係る液晶表示装置は、主体部と、台座とを備え、前記台座は互いに接続される頸部と第 1 シートとを有し、前記液晶表示装置はさらにスライディング・カバーを備え、スライディング・カバーの上端は前記主体部に接続されており、且つ、前記台座の頸部に固定されており、第 1 位置から第 2 位置の間でスライディング・カバーと頸部とは相対的に滑ることができる。

【発明の効果】

【0008】

本発明の液晶表示装置は、ユーザの異なる需要によって、主体部の高度を調節でき、且つ、物を挟むクリップとして使用されることにより、主体部をある物に固定し、空間を有効的に利用するように液晶表示装置を置くことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0009】

図 2 は、本発明の液晶表示装置の構成を示す図である。液晶表示装置 9 は、主体部 10 と、枢設部 12 と、スタンド部 14 を備える。

【0010】

図 4 は、図 2 に示す液晶表示装置のスタンド部の分解図である。前記スタンド部 14 は、台座 16 と、スライディング・カバー 18 とを備える。前記台座 16 は、頸部 22 と第 1 ベース 24 を備える。前記頸部 22 は、二つの支持アーム 36 を有し、前記二つの支持アーム 36 の間にはバー 38 によって接続される。前記スライディング・カバー 18 は、上方スライディング・カバー 28 と、下方スライディング・カバー 30 と、ファスナー 20 とを備えている。前記ファスナー 20 は、バッフル 32 と、回転軸 34 と、押さえボード 44 とを有する。前記押さえボード 44 は回転軸 34 に設けられ、前記押さえボード 44 の回転に伴って回転軸 34 も回転される。前記バッフル 32 及び回転軸 34 は、上方スライディング・カバー 28 と下方スライディング・カバー 30 との間に固定される。前記上方スライディング・カバー 28 は第 2 ベース 26 を備え、該第 2 ベース 26 は第 1 ベース 24 と対応して設置される。前記スライディング・カバー 18 は、さらに、一つの透かし部 40 と、複数のロック孔 42 とを備える。前記複数のロック孔 42 によって、上方スライディング・カバー 28 と、下方スライディング・カバー 30 とを固定させる。

【0011】

図 3 は、図 2 に示す液晶表示装置のファスナー 20 を開けた際の構成を示す図である。図 5 は、図 2 に示す液晶表示装置のファスナー 20 を閉じた際の構成を示す図である。前記スライディング・カバー 18 は頸部 22 に設置されており、且つ、第 1 位置（図 2 に示した位置）と第 2 位置（図 5 に示した位置）の間で滑ることができる。前記第 1 位置とは、スライディング・カバー 18 が台座 16 の第 1 ベース 24 に向かって滑動され、上方スライディング・カバー 28 の第 2 ベース 26 と台座 16 の第 1 ベース 24 とが重なり合われた際の状態を指す。一方、前記第 2 位置とは、スライディング・カバー 18 が登られ、スライディング・カバー 18 の透かし部 40 が頸部 22 のバー 38 に当接された際の状態を指す。前記押さえボード 44 を開けた場合、前記回転軸 34 はバッフル 32 を解放し、

10

20

30

40

50

バッフル 3 2 は頸部 2 2 の支持アーム 3 6 から離れ、スライディング・カバー 1 8 と頸部 2 2 とは相対的に滑ることができる。前記押さえボード 4 4 を閉じた場合、回転軸 3 4 はバッフル 3 2 に当接され、また、バッフル 3 2 は支持アーム 3 6 に当接され、スライディング・カバー 1 8 を頸部 2 2 に固定させる。

【0012】

前記液晶表示装置 9 のスライディング・カバー 1 8 と頸部 2 2 とは相対的に滑ることにより、ユーザの異なる需要に応じて、主体部 1 0 の高度を調節することができる。

【0013】

なお、前記液晶表示装置 9 のスライディング・カバー 1 8 と頸部 2 2 とが相対的に滑ることにより、第 1 ベース 2 4 と第 2 ベース 2 6 との間隔を調節でき、第 1 ベース 2 4 と第 2 ベース 2 6 とが、物を挟むクリップとして使用され、これにより、液晶表示装置 9 の主体部 1 0 をある物に固定し、空間を有効的に利用するように液晶表示装置 9 を置くことができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図 1】従来の液晶表示装置の構成を示す図である。

【図 2】本発明の液晶表示装置の構成を示す図である。

【図 3】図 2 に示す液晶表示装置のファスナーを開けた際の構成を示す図である。

【図 4】図 2 に示す液晶表示装置のスタンド部の分解図である。

【図 5】図 2 に示す液晶表示装置のファスナーを閉じた際の構成を示す図である。

【符号の説明】

【0015】

- 2 台座
- 4 頸部
- 6 ヒンジ
- 8 主体部
- 9 液晶表示装置
- 10 主体部
- 12 枢設部
- 14 スタンド部
- 16 台座
- 18 スライディング・カバー
- 20 ファスナー
- 22 頸部
- 24 第 1 ベース
- 26 第 2 ベース
- 28 上方スライディング・カバー
- 30 下方スライディング・カバー
- 32 バッフル
- 34 回転軸
- 36 支持アーム
- 38 バー
- 40 透かし部
- 42 ロック孔
- 44 押さえボード

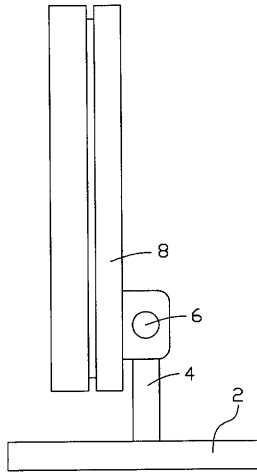
10

20

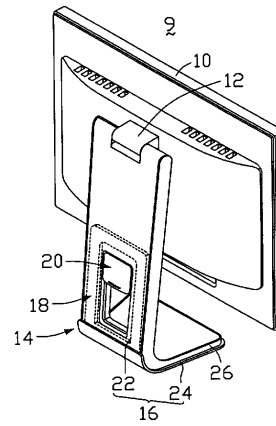
30

40

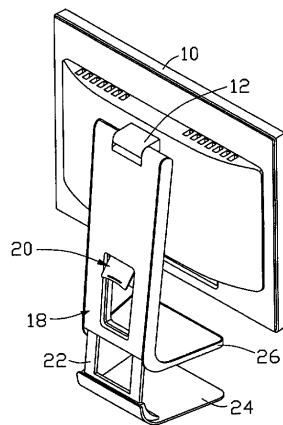
【図 1】



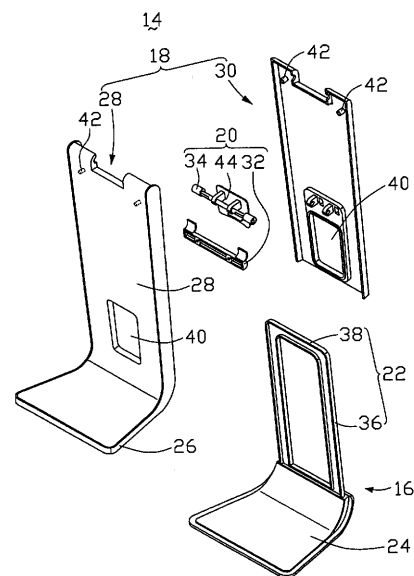
【図 2】



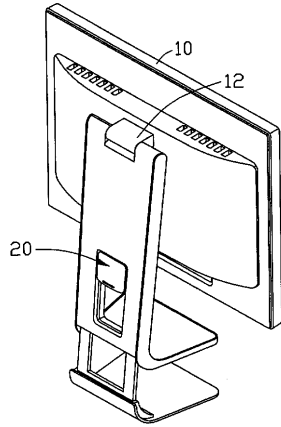
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

- (74)代理人 100110364
弁理士 実広 信哉
- (72)発明者 陳 永祥
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- (72)発明者 黄 澤民
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- (72)発明者 梁 雲龍
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- (72)発明者 黄 明智
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- (72)発明者 呉 宸瑜
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- (72)発明者 洪 曉青
台湾苗栗縣竹南鎮新竹科学園区科学路160号
- Fターム(参考) 2H088 EA03 HA05 MA20
5G435 BB12 EE13 EE17 EE19 LL04